

# DeNA 新収益源に打撃

## サイト休止 成長事業に不透明感

大手IT企業ディー・エヌ・エー（DeNA）が運営する九つのインターネットサイトが休止に追い込まれた。事実誤認や無断転用の疑いが相次ぎ発覚したため、1日には守安功社長の役員報酬を半年減らす処分を発表した。情報のまとめサイトの広告収入を新たな収益源の柱に据えていたDeNAだが、情報を扱う企業としての信頼は損なわれ、業績にも打撃となりそうだ。

医療系サイト「WELQ（ウェルク）」の記事を巡り、事実誤認や無断引用などの指摘が相次いだことだった。ネット上に広がる批判を受け、DeNAは11月29日、同サイトの公開を取りやめた。その後の社内調査で、子育て関連の「cuta（カッタ）」など八つのサイトでも、記事の無断転用の恐れがあることが判明し、今日1日に休止を決めた。守安社長は自社サイト上で謝罪し、「（調査の結果）モラルに反していないという考えを持つことができなかった」とコメントした。

公開が中止されたサイトはいずれも外部のライターやネット利用者から記事を募り、情報をまとめた。閲覧数の伸びに比例し、広告収入も増える仕組みだった。記事数を多く載せて閲覧数を増やそうとするあまり、事実誤認や無断転用が疑われる事態を招いたとみられる。記事の信頼性に対する認識の甘さが痛手となったといえそうだ。

DeNAがまとめたサイトに注力する背景には、主力のゲーム事業の苦戦がある。スマートフォン向けのゲームのヒット作を出すことができず、2016年9月中間連結決算ではゲーム事業の売上高が前年同期と比べ、1割近い減収だった。これに対し、まとめサイトの運営を中心とする新規事業の売上高は倍増した。

だが、今回のサイト休止でDeNAの企業ブランドやサイトへの信頼は揺らぎ、成長事業であるはずのまとめサイトの行方に不透明感が増している。2日の株価（終値）は前日終値比235円（6・67%）安の3285円となった。

DeNAのように知名度が高い企業が運営するサイトの情報に誤りがあれば、利用者への影響は大きい。高市総務相は2日の記者会見で、「このような事態を再発させないよう対応してほしい」と要請した。

サイト名 (情報内容)	中止日
WELQ (医療、健康)	11月29日
memo (住まい、インテリア)	12月1日
Find Travel (旅行)	
cuta (出産、子育て)	
UpIn (投資、保険、節約)	
CAFY (レシピ)	
JOOY (男性ファッション)	
GOIN (車、ドライブ)	
PUUL (エンターテインメント)	

DeNAが公開を休止したサイト